

開発事業地球温暖化対策結果

事業者の氏名 又は名称	株式会社 東京機械製作所 代表取締役社長 木船 正彦 〒108-8375 東京都港区芝五丁目26番24号			
主たる事務所又は 事業所の所在地	住友不動産 株式会社 代表取締役社長 仁島 浩順 〒163-0820 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル			
	株式会社 イトーヨーカ堂 代表取締役社長 三枝 富博 〒102-8450 東京都千代田区二番町8番地8			
開発事業の名称	株式会社東京機械製作所玉川製造所再開発計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市中原区新丸子東三丁目1135番1他			
開発事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設の建設</li> <li>・高層住宅の建設</li> </ul>			
工事の着手 予定年月日	平成24年04月23日			
工事の完了 予定年月日	平成28年03月31日			
開発事業の概要	区域面積	約37,200 m <sup>2</sup>		
	床面積	約212,600 m <sup>2</sup>		
主な建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	A-1地区	商業施設	108,600 m <sup>2</sup>	
	B-1地区	住宅施設	104,000 m <sup>2</sup>	
			m <sup>2</sup>	
			m <sup>2</sup>	
			m <sup>2</sup>	
	床面積の合計		212,600 m <sup>2</sup>	

(第2面)

<p>温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容</p>	<p>エネルギーの使用の合理化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空冷ヒートポンプの採用により、効率的な省エネルギー機器を導入した。</li> <li>・高効率ボイラーを採用し、省エネルギーに努めた。</li> <li>・個別全熱交換器による排熱回収を行い、排熱を有効利用した。</li> <li>・外構照明には蛍光灯を導入し、省エネルギーに努めた。</li> <li>・住宅の窓開口を大きくし、自然光により照明のエネルギー需要削減を図った。</li> <li>・建築物の断熱化のため、断熱性能に優れた部材（等級3相当）の採用や複層ガラスを採用により空調等のエネルギー需要削減を図った。</li> </ul>
	<p>ヒートアイランド現象の緩和</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートポンプの採用により排熱量を抑制した。</li> <li>・設備機器を3階以上で分散して配置することにより排熱負荷の平準化を図った。</li> <li>・人工被覆の改善により、地表面の温度上昇の抑制に努めた。</li> <li>・可能な限り緑化に努め、広場には高木により日陰を形成することで地表面の改善を行うとともに、一部屋上緑化を図った。</li> </ul>
	<p>交通環境への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場を必要台数整備することで利用環境の整備を行った。</li> <li>・居住者及び来客者、並びに従業員に対しては、掲示板等により、アイドリングストップ等のエコドライブの遵守及び公共交通機関の利用を促した。</li> <li>・貨物等の運搬に対しては、運送事業者や取引先事業者に対してエコ運搬の実施とエコドライブの徹底を要請した。</li> </ul>
	<p>緑地の保全と緑化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の周囲を中心に積極的に緑化地を確保するとともに、屋上緑化を導入した。</li> <li>・植栽予定樹種は、大景木、高木、中木、低木を針葉樹及び常緑、落葉広葉樹等を組み合わせ、多様な緑を創出するとともに、花木や実のなる木等による季節感への配慮や、緑陰性なども考慮した。</li> <li>・樹木の健全な育成を図るため、年間維持管理計画を作成し、適切な剪定、刈込み、施肥、病虫害防除・除草等を実施した。</li> <li>・地上部の植栽基盤には良質な客土を必要量確保した。</li> <li>・屋上緑化における植栽土壌は、人工軽量土壌とし、良好な環境を維持するため、散水等に配慮するとともに、土壌飛散のマルチングなどを実施した。</li> </ul>
	<p>工事に係る配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設機械は、排出ガス対策型を使用し、工事用車両は可能な限り、最新排出ガス規制適合車を使用した。</li> <li>・建設機械及び工事用車両は、低燃費型を積極的に採用した。</li> <li>・建設機械及び工事用車両は、アイドリングストップ等のエコドライブを徹底するため、運転者への指導を実施した。</li> <li>・工事用車両は、材料の重量及び容量に適した大きさの車両を使用するなど、運送事業者や取引先事業者に対し、エコ運搬の実施とエコドライブの徹底を要請した。</li> <li>・適切な施工計画により、工事用車両の一時的な発生集中を抑制し、円滑な運行を図った。</li> <li>・建設資材は、再生品や再利用が可能な材料の使用に努めた。</li> <li>・工事用車両及び建設機械の整備、点検を徹底した。</li> </ul>

	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスペースの緑化、雨水浸透ますの設置及び透水性舗装等により、可能な限り雨水浸透を促進し、地下水の涵養を図った。</li> <li>・建築物の長寿命化、リニューアルしやすい構造の採用等により、資源の消費の低減に努めた。</li> <li>・掲示板、張り紙、回覧板等により、ごみの減量化、分別の徹底、リサイクルの促進を促した。</li> <li>・商品等の搬入・販売において、過剰包装を可能な限り抑えるよう促した。</li> <li>・再生可能な資源物は、再資源化業者に委託し、再生利用に努めた。</li> </ul>
再生可能エネルギー源の利用	導 入 機 器	なし

(第3面)

	棟番号	評価の目標	評価の結果
特定建築物の評価	A-1 地区 商業施設	総合評価 A+以上	総合評価 A+以上
	B-1 地区 住宅施設	総合評価 A 以上	総合評価 A 以上
備 考			

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。  
[事務所/学校/物販店/飲食店/集会所/工場/病院/ホテル/住宅/その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例(平成11年 川崎市条例第50号)第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。